

# すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES 10

平成22年9月22日発行

発刊元：かわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.7

## 「だがしや楽校」計画②

### プレ・だがしや楽校「焼き芋パーティー」決定！

9月10日  
昼コース



両グループの話し合いの様子。テーブルの真ん中にはお菓子や飲み物のおすそ分け



今回は、昼コース第6回目の「だがしや楽校計画」。まずは、松田さんからこれまでのおさらいと今後の提案。「昨年度では、9月から話し合いをずっと行ない、大きく妙法寺でイベント的に『だがしや楽校』を開いてみましたが、今年度は一人ひとりが地域の中に出ていくことを段階的にやっていく試みをしていきます。そこで、これまでには、実験的に施設の前で『だがしや楽校』を実施してみたり、それぞれの「見せたいモノ」を見せあったりしてきました。今度はもう少し事前にチラシや宣伝などの準備をした上で、『プレ・だがしや楽校』開いてみましょう。その次には、開いてみての実感や気づきなどをもとに、いろんな人にも声をかけながら、本番を実施してみる。そんな感じでいかがでしょうか？」とのこと。実験的なステップを踏みながら、地域へ出て行くのは、他ではなかなかない試みである。

さて、それからは2つのグループに分かれての話し合い。話し合う前にある受講生から、「私たち受講生同士で、いまだに顔と名前が一致しなかったり、どんな人がいるのか、分かり合えているわけではない。お互いをきちんと理解してからでないともみんなで良いモノは創れないのでは？」という貴重な意見。そんな意見も踏まえながら各グループで話し合いを進め、アイデアを出し合っていた。そして秋の近づく10月初旬、バーベキューを囲みながら、「自分みせ」も出してみる、そんなプレ「だがしや楽校」の開催が決定した。次回は、準備や広報など、詳細について決めていく。このメンバーでこれからどんな活動が生まれるか、胸躍る一日となった。(記事：川上)

10月8日(金)に実施するプレ・だがしや楽校のための話し合い

22.09.10

#### A グループ

各自のできることを見せ合う場

内容：手芸、プロミスリング、絵手紙、色紙代、布でつくった魚つりセット、喫茶店、ブックカバーづくり など

場所：パールセンターふるさと館2階

#### B グループ

自分たちが中心でまず楽しむ場

内容：各自、焼きたいものを持参  
場所：和田堀公園バーベキュー場

#### 決まったこと

【日時】10月8日(金) 10時～12時 @和田堀公園バーベキュー広場 (雨天中止)

- ・焼き芋を囲みながら、火のまわりに「自分みせ」を出してみる
- ・公園にふらっと来ている方と話を

次回に話し合うこと

- ・チラシ・広報などはどうするか？
- ・メンバー間の連絡網づくり
- ・備品・準備等の確認
- ・集合時間・場所の確認

9月1日  
夜コース

# 公開講座「まちづくりのための『場』をつくる」 つながることが重要！ 出会う→語る・聞く→共有→つながる→広がる

午後7時。本日のゲスト講師、まちづくりコーディネーターの  
杉崎和久をむかえて、公開講座がスタートした。

昨年まで練馬の「まちづくりセンター」に勤務、学生時代から  
練馬のNPOにかかわり、まちづくりのための『場』をつくる  
提言をしてきた杉崎さん。都市計画は行政分野でも市民の考  
えを早くから取り入れている領域であるという。

そもそもまちづくりとは何か？「地域生活がより心地よく、よ  
り豊かさを感じることができ、また地域に誇りを持つことがで  
きることを目指した、地域で生活する人達が主体になった持  
続的な活動」と杉崎さん。「そして『場』とは、出会い、伝え合  
い、そしてつながっていける空間です。コミュニケーションを行  
い、共感しあい、そして次に何かを生み出していくことができ

る実際の空間が『場』になります。魅力的な『場』をつくるに  
は、自分たちの活動とその魅力をしっかり伝えるとき同時に、出  
会いから語る・聞くことができるプログラム作りも大事です。」  
また、それぞれの価値観の違いを理解することも地域での大  
きなポイントであることも改めて気付かされた。

自ら場を作らなくても、まずは他団体が企画する『場』に参  
加して自分の活動を伝えるのも初めの一步としてあり！と聞  
いて、ほっとした受講生も多かったはず。なにより「自分がど  
うしてココにいるのか？何のための活動、イベントなのか？を  
常に振り返っていくことが大事」というアドバイスは、まちづくり  
だけでなく、すべての活動に大切なことと痛感した。

(記事：湊)



50人の出席者で、  
熱気が溢れる会場



質問に優しく判りや  
すく答える杉崎さん



必要な情報はいい続ける！「つながり」をつくるにはこちらから「参加」。いろいろ勉強になった。共感すること  
の大切さ、そして自分達の活動は何のためにやっているかを明確にすることの大切さを改めて教えてもらった。

1、2の事例で、立ち上げから成功までを追っかけたものを取り上げてもらえたら、もっと腑に落ちたと感じた。

個々のつながりが希薄な現代日本では勇気がいるが、身近なところから「出会い」「共感」「つながる」活動  
を試みようと思った。知らせる技術についてのヒントがありよかった。まちづくりの実体験として、こんな苦勞  
を乗り越えて、こんなことが成就できたというような、熱い具体例が欲しかった。「共感」を生むための工夫がもっ  
と必要だと感じた。自分のことに置きかえて考える。何故あなたは大人塾に参加されたのですか？という問い  
は、大切なテーマ、気づきになると思った。適切な人を適当人数集める方法は、今後も重要で難しい課題である  
と感じている。講座を通して色々なことが整理された。(アンケートより抜粋)

参加者の  
声だ！



## じゅくと 今月の大人“塾っ人”

大人塾に参加中の...イカした！大人たちに聞きました！

出身 自分にキャッチコピーをつけたら？ 自分のつながりPR

### ☀️ 黒川 百合子 さん

福島県

おいしいもののためなら  
どこへでもいきます！

四国でサークルをやって  
いました。あちらでも「だ  
がしや楽校」できたらいい  
な

### ☀️ 陶山 しのぶ さん

スーザン、シーちゃん

杉並区阿佐ヶ谷

ケーキ作り、修行中...

横浜からの参加です！



### 🌙 古川 洋一 さん

ふるちゃん

長崎県

地域活性の仕掛人

起業支援、外食関連

得意です。

### 🌙 増山 利子 さん

vicky

東京都

be happy!

仏像彫っています。月一  
回位、誰でも来ておしゃべ  
りしながら、気楽に彫れる  
場所作れたらと思っています。

すぎなみ大人 塾 してる？の発行にあたって

この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。